

FRONTEO、自然言語 AI 技術開発に関して アカデミアを対象に医学的見地に基づいた学術活動を開始

Regional IPA/JPS Meeting・第36回日本老年精神医学会

株式会社FRONTEO（本社：東京都港区、代表取締役社長：守本 正宏、以下 FRONTEO）は、9月16日（木）～18日（土）に開催されるRegional IPA/JPS Meeting・第36回日本老年精神医学会において、「認知症診断の未来～世界初言語系AI医療機器で診断はどう変わるか～」をテーマに共催セミナーを開催いたします。

【セミナー概要】

テーマ：認知症診断の未来～世界初言語系AI医療機器で診断はどう変わるか

日時：2021年9月17日（金） 12:50～13:40

会場：WEB開催（詳細は学会ホームページよりご確認ください）

http://184.73.219.23/rounen/D_gakkai_koenkai/36th/index.html

講演1：自然会話で診断する人工知能～世界に先駆けた挑戦～

講演2：AIを用いた認知症診断の展望と課題

*本セミナーに関するご案内

視聴には学会への参加登録が必要です。

参加登録者に学会より視聴サイト/WEB視聴方法のご案内がございます。

FRONTEOは、これまで自社開発の人工知能「Concept Encoder（商標：conceptencoder、読み：コンセプトエンコーダー）」をコア技術とし、ライフサイエンス領域におけるAI医療機器やソフトウェア等のソリューション開発を進めてきました。さらに、今後、AI分野と医学分野との産学連携が極めて重要であることから、本テクノロジーに関する技術的・学術的情報を、精神神経分野をはじめとするアカデミア（医学会等）に対して本格的に情報発信していくことを決定いたしました。本共催セミナーは、この情報発信活動の一環として実施いたします。FRONTEOは、AIの医療現場でのより効果的な活用と、本邦における医療のデジタル化の推進に貢献してまいります。

■Concept Encoderについて

URL：<https://lifescience.fronteo.com/technology/conceptencoder/>

「Concept Encoder」は、FRONTEOがライフサイエンス分野に特化して開発した自然言語解析AI（人工知能）です。自由記述のテキストデータを大量に含むメディカルデータを、エビデンスに基づいて有効に解析・活用することを目的に2018年に開発しました。Concept Encoderはテキスト以外のデータとの共解析も可能であり、ライフサイエンス領域に蓄積されてきた遺伝子発現情報・バイタルや各種検査値などの数値データとの共解析の研究を進めています。特許登録番号：特許第6346367号

■FRONTEOについて URL: <https://www.fronteo.com/>

FRONTEOは、自然言語処理に特化した自社開発AIエンジン「KIBIT」と「Concept Encoder」を用いて膨大な量のテキストデータの中から意味のある重要な情報を抽出し、企業のビジネスを支援する、データ解析企業です。2003年8月の創業以来、企業の国際訴訟を支援する「eディスカバリ（電子証拠開示）」や、「デジタルフォレンジック調査」というリーガルテック事業をメインに、日本、米国、韓国、台湾とグローバルに事業を展開してきました。リーガルテック事業で培ったAI技術をもとに、2014年よりライフサイエンス分野、ビジネスインテリジェンス分野、経済安全保障へと事業のフィールドを拡大し、AIを用いて「テキストデータを知見に変える」ことで、創薬支援、認知症診断支援、金融・人事・営業支援など、様々な企業の課題解決に貢献しています。2007年6月26日東証マザーズ上場。2021年1月第一種医療機器製造販売業許可を取得（許可番号：13B1X10350）、同9月管理医療機器販売業を届出（届出番号：3港み生機器第120号）。資本金2,973,975千円（2021年3月31日現在）。

※FRONTEO、KIBIT、conceptencoderはFRONTEOの日本における登録商標です。

< 報道関係者のお問合せ先 >

株式会社 FRONTEO 広報担当

FAX: 03-5463-6345 Email: pr_contact@fronteo.com

< ライフサイエンス AI 事業に関するお問合せ先 >

株式会社 FRONTEO ライフサイエンス AI 事業本部

<https://lifescience.fronteo.com/contact>